科目名 Subject	日本語総合Ｋ General JapaneseK		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	この授業では2つの目的がある。1つはPCでのローマ字入力をブラインドタッチでできるようにすること。2つ目は会話の上達を目的としている。各課のトピックスの語彙・重要語句を理解して課題であるロールプレイの会話をを作成しできることである。 　1つ目のブライドタッチだが、これは「e-typing」というアプリケーションを使用する。 これは、五十音のタイピングをゲーム感覚で練習。その後、拗音・撥音・長音・長文の練習をした後、毎回1分間で何ワード打てるかミニテストがある。できた場合、内申点に加算される。前期のみ実施される。 　会話の授業では必ずペアを組んで授業を進める。関連する課のトピックスの会話（４つの会話）を聞いて内容を把握する。その後、重要表現を（友人と話す場合、上司と話す場合）の話し方の違いを理解して関連した問題や、ディクテーションを解く。最後にまとめとして、重要表現を使用してロールプレイの作成。				
授業の目標	タイピングの授業では授業の始め30分割り当てる。毎回課題を与えるので全員ブラインドタッチができ、レポート作成に支障がないよう入力できる。 　会話の授業では学生に各課ごとのトピックするの語彙と表現を理解できる。その後、それを応用してロールプレイを作成できるようになるように進める。各ペアごとに発表の実施し、クラス全員で評価する。評価には評価表を全員に配布し、自分が作ったものも友だちが作ったものからもいろいろなことが気付き、評価することができる。				
時間外学習 （予習・復習）	文章を書く意味の理解すること。考えることかが伝えたいことがある共通の認知のために、この授業に出るまえにその準備を十分にして準備をする。そのためにはテーマに関係する情報を新聞やテレビやインタネットで30以上時間をかけ調べてくこと。 復習は60分はかけ、先生が訂正した日本語の誤りや加筆をチェックして、次の作文にそれを活かすことができる。				
教科書・教材	教科書	中級から上級への日本語会話　凡人社			
	教材	聴解CD　PC、パワーポイントなどを使い、発表する			
	使用設備・備品	パソコン			
	参考文献				
評価方法	平常時の提出分の内容と回数で40%、期末試験で50%、普段の努力度で10%の割合で80以上はA,70から79まではB,60から69はC、それ以下はDで不可です。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	テーマやトピックスにいて、事前情報をきちんと収集してから出席してください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	(1) e-typing 登録　a-z入力 (2)1課ユニット１レストラン　注文	e-typing 登録　a-z入力をすることができる。会話はレストランでの上品な会話ができる。	e-typing 登録　a-z入力を復習でイメージ練習する。とくに両手で入力する練習をできるまでしておく
第２回	(1) e-typing練習2-4 (2)1課　ユニット２　レジでの会話	e-typing 登録　a-z入力をすることができる。会話はレストランでの上品な会話ができる。	居酒屋や食堂での会話とレストランでの会話の違いを覚え、上品な会話をしっかり覚える
第３回	(1) e-typing50音 (2)1課　重要表現・練習問題	e-typing a-z両手で入力をすることができる。会話上手に話すことができる。	e-typing a-z入力を復習でイメージ練習する。とくに両手で入力する練習をできるまでしておく
第４回	(1)濁音・撥音。拗音・促音・長音・ミニテスト (2)ロールプレイ作成・発表	日本語の聞き取りが正確になり発話のときもきれいに声に出すことができる	濁音・撥音。拗音・促音・長音の練習をして、正しく聞くことができ、発音することができるように復習をすること
第５回	(1)応用問題短文/ミニテスト (2)2課 ウォーミングアップ学ぶ	応用問題で自分で楽しい会話をすることができ、間違いを直すことができる	前回の応用問題の短文を復習するので家でしっかり復習しておく
第６回	(1)応用問題　長文練習 (2)2課聞取り練習問題 ポイントレスニング学ぶ	長い文の応用問題に答えることができる。聞き取り練習で濁音撥音など聞き取ることができる	長文の聞き取り練習の復習をしっかりする。特に濁音撥音に注意して発生すること
第７回	(1) e-typing 記号 (2)2課　重要表現・練習問題	e-typing 記号を入力することができる。自分の勘違いなどの体験を話すことができる	e-typing 記号の入力を両手でイメージトレーニングをする。２課の復習も確実にしておくこと
第８回	(1) e-typing 長文テスト (2)3課ロールプレイ作成・発表	e-typingでは長文を入力することができる。ロールプレイで自然な会話をすることができる	長文入力でうまくいかなかった所をうまくいくイメージで何回も復習すること
第９回	(1)4課 ウォーミングアップ ハプニングの会話	歴史的に有名な人について説明することができる	歴史的な有名人について、発表できるように調べておくこと。できれば３人くらい調べておくこと
第１０回	(1)４課　ハプニング 建物や部屋などの説明会話	歴史的に有名な建物や部屋など知っていることを説明することができる	歴史的な建物や部屋などについて、発表できるように調べておくこと。それを選んだ理由も説明する
第１１回	(1)4課　重要表現・練習問題	ハプニングで使う重要表現や語彙の確認と練習で表現を豊かにすることができる	授業の前にこの課で勉強したことを復習してから授業に出ること。復習では覚えたことをたくさん口に出してみること
第１２回	(1)4課ロールプレイ作成し 発表	ハプニングで使う重要表現や語彙を使って会話文を作ることができる。発表をすることもできる	授業の前に実際のハプニングを内容を整理し、みんなの前で発表するアイディアを考えておくこと
第１３回	(1)5課 ウォーミングアップ 街角のどこかでの会話	ファッションや映画、料理について説明したり友だち会話をすることができる	ファッションでも映画でも料理でも自分の好きなものやしてみたいものを考えてイメージしておくこと
第１４回	(1)５課　街角のどこかで会話 晴れの日　スポーツについて話す	自国の晴れの日の説明をすることができる。さらに自国のスポーツについて話すことができる	自国の晴れの日を説明できるようまとめておく。また人気のあるスポーツの話もまとめて発表できるようしておく
第１５回	今期のそうまとめと復習	前期テストの対策及び復習	総まとめと試験対策でいい結果をだし、いい評価をしてもらう準備をしておく